

株主の皆さまへ

第81期 株主通信
2017年冬号
2017年4月1日~2017年9月30日

株主の皆さまには、平素より
格別のご高配を賜り、
厚く御礼申しあげます。
ここに、第81期
株主通信 2017年冬号を
お届けいたします。



2017年度上期の当社グループの業績は、大幅な増収増益を達成しました。制御機器、電子部品、ヘルスケアの各事業が好調で、売上高4,105億円(前年同期比10.5%増)、営業利益は過去最高の434億円(同67.4%増)、稼ぐ力を表す売上総利益率は41.5%(同2.5P増)となりました。また、下期も好調な業績を見込み通期業績予想を上方修正しました。将来の成長に向けた必要な投資を行いながらも過去最高水準の利益を達成できる見込みです。なお中間配当は前年より4円増配の1株あたり38円とし、年間配当予想は過去最高の76円に引き上げました。中期経営計画「VG2.0」の初年度である2017年度は好調なスタートを切ることができました。

VG2.0の目標達成に向けて成長し続けるためには、オムロンで働く社員の健康が基盤となります。皆が豊かで充実した生活を送れる環境づくりを加速するため、7月に「健康経営宣言」を行いました。笑顔と活力にあふれる健康的な職場を実現し続けることで、革新的な技術を創造し、様々な社会的課題の解決を通じたより良い社会の実現に貢献していきます。

オムロンは創業以来、企業理念に基づき事業を通じて社会の発展に貢献してきました。これらの取り組みが評価され、9月には、世界的に認知度の高い「DJSI World*」の構成銘柄に初めて選定されました。日本企業で選ばれたのはわずか32社です。今後も継続して事業を通じて社会の持続的発展に貢献してまいります。引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

* DJSI World:ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス・ワールド
サステナビリティ(持続可能性)投資の株価指標で経済・環境・社会の3つの側面から世界各国の大手企業を評価するもの。

2017年12月
代表取締役社長 CEO

山田 義仁

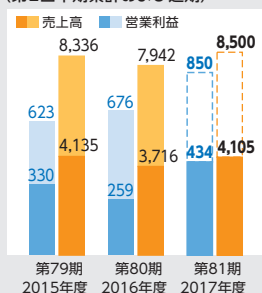
OMRON オムロン株式会社

〒600-8530 京都市下京区塩小路通堀川東入 URL: <http://www.omron.co.jp/>

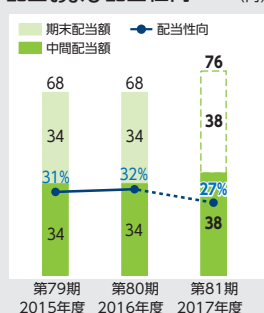
第81期(2017年度) 第2四半期決算ハイライト(連結累計)

	実績	前年同期比
売上高	4,105 億円	+10.5 %
営業利益	434 億円	+67.4 %
売上高営業利益率	10.6 %	+3.6 P
税引前四半期純利益	410 億円	+73.6 %
当社株主に帰属する 四半期純利益	303 億円	+91.2 %
基本的1株当たり 当社株主に帰属する 四半期純利益	141.92 円	+67.79 円

売上高および営業利益 (億円)
(第2四半期累計および通期)



配当および配当性向 (円)



◎第81期中間配当金につきましては、1株につき38円といたしました。

第81期(2017年度) 通期の見通し(連結)

		前期比
売上高	8,500 億円	+7.0 %
営業利益	850 億円	+25.8 %
売上高営業利益率	10.0 %	+1.5 P
税引前当期純利益	795 億円	+21.4 %
当社株主に帰属する 当期純利益	590 億円	+28.3 %
基本的1株当たり 当社株主に帰属する 当期純利益	277.00 円	+61.91 円

(注) 上記は、2017年10月31日決算発表時点で入手可能な情報に基づく将来の業績および配当に関する見通しです。

💡 質問にお答えします！

Q 「サステナビリティ」って何ですか？
「サステナビリティ目標」をなぜ設定したのですか？

A 「サステナビリティ」とは、「持続可能性」を意味します。いま世界が目指すのは「持続可能な社会」、すなわち「世界中の人々が将来に希望を持てる社会」の実現です。オムロンは事業を通じて社会的課題を解決することで成長し、これからの持続可能な社会づくりに貢献していきたいと思っています。そのために設定したのが「サステナビリティ目標」です。この目標は、オムロンが2017年度から取り組んでいる中期経営計画「VG2.0」とサステナビリティ戦略を統合し設定したもので、VG2.0の成功にはサステナビリティ目標の達成が欠かせません。またこの目標はSDGsを達成することにもつながります。

Q 「SDGs」って何ですか？

A SDGs(エス・ディー・ジーズ)は、「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称です。2015年の国連総会にて、150を超える国連加盟国参加のもと17項目の目標が採択されました。貧困・飢餓・健康・教育・環境・エネルギー・気候変動など地球規模の課題解決に向けた目標が定められています。国際社会全体でこの目標を達成するために、企業には、事業を通じてこれらの課題を解決することが期待されています。オムロンは社会の変化を捉え、人々が抱える社会的課題を事業を通じて解決することで成長してきました。それはSDGsの考えと一致しています。私たちは今後、世界中の人々のために、さらに数々の社会的課題を解決していかなければならないと考えています。

💡 オムロンの取り組みを見てみましょう

◆ 脳・心血管疾患の発症ゼロ
(=ゼロイベント)への取り組み



脳梗塞や心筋梗塞など、命にかかわる疾患(イベント)を引き起こす大きな要因のひとつが高血圧症です。これに関する私たちの取り組みをご紹介します。



高血圧症には自覚症状があまりありません。そのため、治療のスタートが遅れたり、もう大丈夫と薬をやめてしまったりして動脈硬化が進み、イベントを引き起こしてしまい、後悔をする人が減らないというのが実情です。

そこで私たちは、脳・心血管疾患の発症をゼロにする「ゼロイベント」の実現に向けた新しいチャレンジを始めています。

高血圧症の原因は人それぞれ異なります。そのため、血圧データに加え、心電、睡眠、活動量などの情報、さらには生活習慣や性格、既往歴など、個人のデータを組み合わせ、一人ひとりの高血圧のタイプを分類します。将来的には高血圧症のタイプ別に発症しやすい疾患を結びつけ、リスクをお知らせしたり、生活習慣改善を提案したり、個人に最適な治療をサポートしていきます。

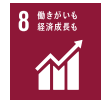
測ることを通じて予防につなげることで、オムロンヘルスケアはそうすることで私たちのミッションである「地球上の一人ひとりの健康ですこやかな生活への貢献」を実現したいと考えています。



ゼロイベントに取り組むオムロンヘルスケア(株)のメンバー

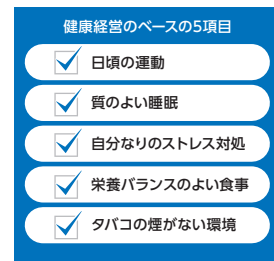
💡 次は社内での取り組みです

◆ 「健康経営」への取り組み



私たちは2017年7月に「健康経営宣言」を行いました。企業理念の実践を通じて社会的課題を解決することで成長し続ける企業であるためには、オムロンで働く社員全員が、健康で活気に満ち溢れ、能力を十分に発揮できることが必要だと考えたからです。

私たちは、「健康をハカル」ことにより、将来にわたる健康リスクの低減を目指します。具体的には、健康経営のベースとなる5項目を基に活動を実施していきます。まず第一弾として、「睡眠をハカル」ことに取り組みました。睡眠不足は生産性を阻害する要因として社会的にも大きな課題となっているからです。希望者に対し睡眠の状態を測ることができる活動量計



を配布し、同時に、社内の保健師による「良質な睡眠」に関する睡眠教育を行いました。毎日の睡眠の状態見える化し、改善に向けたきっかけと気づきを促したのです。参加者からは「睡眠教育でのアドバイスで眠りが深くなった」、「質のよい眠りになるよう工夫するようになった」などの感想が届きました。睡眠以外の項目についても順次進め、「健康経営」の実現に向けて取り組んでいきます。オムロンのウェブサイトの内容を随時掲載していきますので、そちらもぜひご覧ください。



健康経営を推進しているオムロン(株)のメンバー

国連総会で掲げた2030年までに達成すべき17項目の目標



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

配当金受領株主
確定日 期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

株主名簿管理人
および特別口座
口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
(電話照会先) **0120-232-711** オペレーター対応
(9:00 ~ 17:00 土・日・祝日を除く)

上場証券取引所 東証第一部

証券コード 6645

株式に関するお問い合わせ

- 届出住所・姓名などのご変更
- 配当金の受領方法・振込先のご変更
- 単元未満株式の買取・買増請求

口座を開設されている証券会社へ
お問い合わせください。

- 特別口座に関するご照会
- 郵送物の発送と返戻に関するご照会
- 支払期間経過後の配当金に関するご照会
- その他株式事務に関する一般的なご照会

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部まで
お問い合わせください。
電話照会先は上記をご参照ください。

株主優待制度による「太陽の家への寄付」のご報告



2017年度の株主優待による「太陽の家への寄付」は、総額¥2,786,000となりました。
2017年9月29日に「オムロン(株)」名義で寄付させていただきましたのでご報告いたします。
多くの株主さまより温かいご芳志を賜り、心より御礼を申し上げます。